

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【公開番号】特開 2003-305195 (P2003-305195A)
 【公開日】平成 15 年 10 月 28 日 (2003.10.28)
 【出願番号】特願 2002-114270 (P2002-114270)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 4

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 12 日 (2005.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤の一部に配設された枠部材と、

該枠部材の内部に設けられ、入口部から入球した遊技球を転動させる第一転動部及び第二転動部とを具備するとともに、

前記第一転動部と前記第二転動部とを区画して構成するとともに、前記第一転動部と前記第二転動部とが上下方向に並設されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第一転動部及び前記第二転動部のうち、下側に形成される転動部が、前記枠部材の内側底面によって構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記枠部材の下方の遊技盤に特定入球領域が配設され、前記第一転動部及び前記第二転動部には夫々遊技球を排出させる排出部が前記特定入球領域の上方に対して設けられていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記入口部から入球した遊技球を下側の転動部に誘導させるための誘導部が、前記枠部材の内部で且つ上側の転動部の左右両側に配設されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一つに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記第一転動部及び前記第二転動部の少なくともいずれか一方の転動部は、上下方向に対して略円弧状に湾曲した形状をなし、転動方向の略中央部分に、前方に下り傾斜したガイド溝が形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一つに遊技機。

【請求項 6】

前記ガイド溝の溝幅が遊技球の直径に略一致するとともに、前記ガイド溝の両側に前方に向って下り傾斜した傾斜面が形成されていることを特徴とする請求項 5 に記載の遊技機。